

平成29年4月度 安全衛生委員会

今月のテーマ 包丁の洗浄・ふき取り時の注意事項

◆ 取り組む背景

- ・包丁の洗浄、ふき取りの際に手を切ってしまった事故は、48件で、32期の重傷事故の第3位になっています。
- ・包丁による事故は深い傷を負うことが多く、その4割近くが重傷事故になってしまっています。
- ・正しく安全な方法で洗浄、ふき取りを行い、包丁事故を無くしていきましょう。

◆ 33上期、包丁の洗浄・ふき取り時の主な重傷事故

- ・包丁をスポンジでくるんで空中で洗う際に、一瞬目を離し、誤って右手のひらを切ってしまった。(休業14日など計11件)
- ・細巻き作成中、包丁をまな板の上に置いて、ダスターを動かしてぬめりをふき取っていた時、指を引き切ってしまった。(休業12日等2件)
- ・包丁を洗っている時、他のスタッフから声を掛けられて、目を離してしまい、包丁が滑って人差指に食い込んでしまった。(休業8日)

◆ 取り組み内容

- 包丁作業中は、包丁の刃から目を離さない
- 包丁洗浄は、シンクの縁に刃がはみ出ないように包丁を置き、**刃の腹を根元から刃先へスポンジを動かす**

間違った方法

手にスポンジを持って、包丁をくるんでふき取る
(刃がどちらを向いていても危険です)

- 細巻きカット1回毎に、作業**台上に置いた濡れダスターに**、刃の腹の片側を1回ずつ、**包丁を押さえつけて**拭いとる

間違った方法

包丁を台上に置いてダスターで拭いとる
(ダスターは薄く、刃がすぐに手に当たります)

◎(正しい)

×(間違い)



写真(1)

⇒写真(1)



写真(2)

⇒写真(2)

4月の安全衛生委員会議事録提出は、**4月25日**となっております。